

◆ 外国語学部 オープンキャンパス模擬授業 (Zoom)

※：申込定員数については事情により変更することがありますのでご了承ください。

開催日時	模擬授業タイトル	模擬授業内容	定員※	担当教員
8月11日(火)	11:00 ~ 11:50	<b>南アジアを現地語で読み解く楽しみ</b>  南アジアは、インド、パキスタン、バングラデシュなど7か国を含む地域で、17億以上の人々が住み、数多くの言語が話されています。 本学にはヒンディー語とウルドゥー語の専攻があります。英語や日本語の文献に出てこない南アジアの一面を知ることによって外国語学部の醍醐味があります。ここでは現地語資料の事例を紹介しながら、南アジア研究の面白さをお伝えします。	70名	山根 聡(ワウ) 先生
	13:30 ~ 14:20	<b>中国、香港、台湾から世界を見る</b>  昨年から今年にかけて、中国、そして香港、台湾は世界を揺るがす大きな事件の渦中にありました。その最中、中国武漢から新型コロナウイルスの大規模感染が起こり、現在全世界はそのウイルスの拡散によって大きな経済的、社会的打撃をこうむっています。 一方台湾は中国ときわめて密接な交流がありながらきわめて迅速で徹底した初動体制と対応で、感染者ゼロを更新しています。 グローバルな繋がりで覆われる今の地球で、これらは我々の日々の生活や進路や生存環境に直接かかわる事態となっています。米中貿易摩擦や現代世界でどういふ激変がおきているのかを理解する眼を養うために、どのような視点や認識の手法を持つべきなのかを皆さんと考えてみたいと思います。	300名	深尾 葉子 先生
	14:30 ~ 15:20	<b>言語から見える『世界』</b>  世界には約6000の言語があるとされていますが、当然ながら言語によって文法も音の体系も異なります。「似ている」と言われている言語や方言であっても、詳しく調べると違いが見えてきます。一方で、世界中で話されている言語に共通する点もたくさんあります。 この講義では、言語の多様性と普遍性、そしてそれを学ぶおもしろさについてお話します。	300名	米田(ヨネタ)信子 先生
	15:30 ~ 16:20	<b>世界の言語を観察してみよう ～記述言語学へのお誘い～</b>  言語は謎や驚きであふれています。しかし、世界では今言語の多様性が急速に失われつつあります。 ある言語が何の記録も残さずにこの世から消えれば、その話者が築き上げてきた社会の慣習や世界観など、貴重な無形文化財も失われてしまいます。 この授業では様々な世界の言語を観察し、言語を「記述」することの楽しさについてお話します。	70名	大塚 行誠 先生
8月12日(水)	15:00 ~ 15:50	<b>『蘭学事始』から外国学事始へ —杉田玄白に学ぶ外国学の意義—</b>  日本に生きる私たちにとって「外国語を学びながら外国を知る」とはどのような意義があるのでしょうか。 この講義では、江戸時代に「鎖国」の壁に阻まれつつもヨーロッパで育まれた学問を成就しようと奮闘した杉田玄白の言葉を振り返りながら、日本人にとっての外国学の意義についてこれから大学の扉を叩こうとする皆さんと一緒に考えてみましょう。	300名	古谷(フルヤ)大輔 先生
8月13日(木)	11:00 ~ 11:50	<b>外国にルーツを持つ子どもたち</b>  日本の小・中・高では外国にルーツを持つ子どもたちがたくさん学んでいます。 この授業では、その人たちがどのようなことに困っているのか、その人たちに対して学校や地域でどのような教育や支援が行われているのかをお話します。みなさんの身近なところで暮らしている「外国」の人たちのことを考えてみませんか？	300名	矢元(ヤマト)貴美 先生 近藤 美佳 先生
	15:00 ~ 15:50	<b>ポップなイスラーム</b>  日本と密接な関係を持つ東南アジアには現在、約3億人のムスリムが暮らしています。そこでは、特に近年若者を中心に急激にイスラーム化が進行し、若者が牽引する新しいポップなイスラーム文化を全世界に向けて発信しています。イスラームの辺境地東南アジアで生まれた新しいイスラームの形を通して、宗教と地域性についてお話します。	300名	菅原 由美 先生